

特定非営利活動法人
八王子共生社会推進会議

令和2年度 総会

議案書

2020年6月9日(火)

11:00~12:00

NPO法人八王子共生社会推進会議事務局会議室

総 会 次 第

1. 開会のことば（総合司会）

2. 理事長あいさつ

3. 議長・書記の選出

4. 議事録署名人の選任

5. 議案審議

第1号議案 平成31年度(2019年)事業報告

第2号議案 平成31年度(2019年)活動計算書

八王子共生社会推進会議 貸借対照表

八王子共生社会推進会議 財産目録

会計監査報告

第3号議案 令和2年度(2020年)事業計画(案)

第4号議案 令和2年度(2020年)活動予算書(案)

第5号議案 理事選任の件

6. 閉会のことば

<参考資料>

もやいの長期的な夢の事業（もやい版 Maas）

もやいMaasによる移動・送迎支援活動モニター構想

第1号議案 平成31年度(2019年)事業報告

(平成31年度4月1日～令和2年3月31日)

2019年度はトヨタ・モビリティ基金助成が決定し、2年契約の1年目の活動を行いました。初めての事業も多く、いろんな課題がありましたが、みなさんの協力もあり、一年間無事過ぎました。

2019年度は、もやいが目指す「地域共生社会構築」へ大きく前進するための1年間であったと思われま

す。トヨタ・モビリティ基金事業は八王子市社会福祉協議会や八王子市福祉部高齢者福祉課を初め、多くの団体や研究者のご協力があったことも大きな成果の賜物です。

この場を借りて厚く御礼申し上げます。2020年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【1】トヨタ・モビリティ基金事業

トヨタ・モビリティ基金^①による事業「地域に合った移動の仕組み作り」の構築は、全国的にはいくつかの事例はありますが、中核市レベルでの事業運営は八王子市が初めてと思われま

す。もやいでは地域で活動する団体(八王子市への B 登録団体)へ働きかけ、その地域での移動・送迎支援活動を支える活動を推進してきました。

今年度の車による運行実績は5団体で合計423回でした。八王子市には27の登録団体があり、もう少し多くの団体にも活動してもらうことが課題です。

その利用目的は下記の通りで、通院・買い物が上位1・2を占めました。

行先	病院	施設	サロン	買い物	見守り	その他	合計
回数	106	62	56	100	6	93	423

①一般財団法人トヨタ・モビリティ基金 (Toyota Mobility Foundation,以下「TMF」)は、「地域に合った移動の仕組み作り」に取り組む日本国内の地方公共団体や NPO 等の支援する助成金プログラムです。

【2】関連部門・機関との情報交換

移動支援活動を具体化するため、八王子市及び八王子市社会福祉協議会などと定期的な情報交換を行いました。

令和1年10月には八王子市より理想的な組織図が提示され、もやいの活動にも弾みが出来ました。長期的には移動支援センターを設置し、さらに組織的な活動を行いたいと思います。

また、医療経済研究機構・研究部研究員 服部真治氏や桜美林大学・社会福祉教授 島津 淳氏とも頻りに連絡を取り合い、活動のための情報を収集しました。さらに全国移動サービスネットワーク事務局長の伊藤みどり氏には運転者講習会のテキストを作るために大変お世話になりました。

もやいの人的ネットワークが生かされた1年でもありました。

【3】勉強会の実施

2019年度は活動を活性化するため、活動団体との情報交換に力を入れました。具体的には勉強会活用し実施しました。(合計3回開催)

① 第1回勉強会

日 時 : 令和元年10月11日(火)(八王子クリエイトホール第5学習室)

講 師 : 八王子市福祉部高齢者福祉課主査 辻野文彦氏

テーマ : 「市が推進する移動支援の現状とこれから」

～地域主体の活動を応援する仕組～

参加者 : 地域で活動する B 登録団体、八王子市
八王子市第2層生活支援コーディネーター
八王子共生社会推進会議

② 第2回勉強会

日 時 : 令和2年1月14日(木)(八王子市社会福祉協議会ボランティアセンター)

テーマ : 地域での移動・送迎活動の活性化のために

活動紹介 : 「移動送迎支援活動を実践して」

みんなの居場所「暖炉」代表 古木 保氏

参加者 : 八王子市、第1層生活支援コーディネーター
八王子市第2層生活支援コーディネーター、CSW の皆さん
八王子共生社会推進会議

③ 第3回勉強会

日 時 : 令和2年2月26日(水)(八王子市市民活動支援センター 会議室)

テーマ : 八王子市が実施するモデル事業(サービスCの送迎)についての意見交換

参加者 : 地域で活動する B 登録団体、
八王子市第2層生活支援コーディネーター
八王子共生社会推進会議

【5】出前講座の実施

地域で生活支援する団体(B 登録団体)管理者向けに、移動・送迎支援に関する「安心・安全を確保」するための法律や専門的な事項の講習会を6回行いました。活動を行うには個人的なリスクを最小限にすることが基本です。これが出来なければリスクばかりが強調され、活動にブレーキをかけるような雰囲気も生まれます。内容をよく理解することが基本です。

また運転実務者向けの講習会も4回行いました。実務上の「安心・安全」の知識を習得して頂きました。これらを理解するためテキストを見直し、より親しみやすい内容としました。これには全国移動サービスネットワーク様のご協力により完成しました。

【6】移動支援相談室の開設

車による送迎支援には白タク行為防止など、法律上の専門的知識が必要であり、だれでも気軽に相談できる体制が必要です。しかし八王子にはそのような機関はなく、もやいはこの課題に対するため、独自で「移動支援相談室」を開設しました。

また、2019年度にはもやいが所有する送迎用車両の貸し出しも開始しました。この車両の受け渡しや、日常の保守・点検などもこの相談室が中心となり事業を行いました。

第2号議案 平成31年度活動計算書

書式第13号（法第28条関係）

事業報告用

2019年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 八王子共生社会推進会議

（単位：円）

	科 目	金 額	小計・合計
【A】	経常収益		
1	受取会費		36,000
	正会員受取会費	16,000	
	賛助会員会費（トヨタレンタリース）	20,000	
2	受取寄附金		753,000
	受取寄附金	753,000	
	施設等受入評価益		
3	受取助成金等		7,998,336
	受取助成金（トヨタモビリティ財団）	7,998,336	
4	事業収益		0
	事業収益		
	事業収益		
5	その他の収益		5
	受取利息	5	
経常収益計			8,787,341
【B】	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		3,227,490
	直接人件費	2,111,000	
	外部人件費	1,116,490	
	(2) その他経費		4,770,846
	旅費交通費	405,480	
	車輛リース代	1,289,000	
	印刷製本費	496,070	
	業務委託費	1,080,500	
	通信運搬費	133,870	
	事務所・駐車場借用料	440,000	
	雑費その他	385,598	
	繰越金	540,328	
	繰越金	4,770,846	
事業費計			7,998,336
2	管理費		
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	(2) その他経費		260,607
	旅費交通費	13,540	
	通信運搬費	36,067	
	広告宣伝費 東京高専	200,000	
	雑費	11,000	
管理費計			260,607
経常費用計			8,258,943
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			528,398
【C】	経常外収益		
	過年度損益修正益		
経常外収益計			0
【D】	経常外費用		
	過年度損益修正損		
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			528,398
	法人税、住民税及び事業税・・・④		
	前期繰越正味財産額・・・⑤		509,552
次期繰越正味財産額③－④+⑤			1,037,950

2019年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人 八王子共生社会推進会議

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法(記載事項なし)
- (2) 固定資産の減価償却の方法(記載事項なし)
- (3) 引当金の計上基準(記載事項なし)
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理(記載事項なし)
- (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	トヨタモビリティ事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益					
1. 受取会費				36,000	36,000
2. 受取寄附金				753,000	753,000
3. 受取助成金等	7,998,336		7,998,336		7,998,336
4. 事業収益					
5. その他収益				5	5
経常収益計	7,998,336		7,998,336	789,005	8,787,341
II 経常費用					
(1) 人件費					
1 直接人件費	2,111,000		2,111,000		4,222,000
2 間接人件費	1,116,490		1,116,490		2,232,980
人件費計	3,227,490		3,227,490		6,454,980
(2) その他経費					
1 消耗・備品費	146,022		146,022		146,022
2 印刷製本費	496,070		496,070		496,070
3 旅費交通費	405,480		405,480	13,540	419,020
4 通信費	133,870		133,870	36,067	169,937
5 会議費	40,556		40,556		40,556
6 研修費	5,000		5,000		5,000
7 保険料	14,595		14,595		14,595
8 業務委託費	1,080,500		1,080,500		1,080,500
9 賃借料	1,729,000		1,729,000		1,729,000
10 広報費	40,000		40,000	200,000	240,000
11 雑費	139,425		139,425	11,000	150,425
12 繰越金	540,328		540,328		540,328
その他経費計	4,770,846		4,770,846	260,607	5,031,453
経常費用計	7,998,336		7,998,336	260,607	8,258,943
当期経常増減額	0		0	528,398	528,398

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳(記載事項なし)

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳(記載事項なし)

5. 固定資産の増減内訳(記載事項なし)

6. 借入金が増減内訳(記載事項なし)

7. 役員及びその近親者との取引の内容(記載事項なし)

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項(記載事項なし)

2019年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 八王子共生社会推進会
(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	1,578,278	1,578,278
	流動資産合計・・・①		1,578,278
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		0
	車両運搬具		
	什器備品		
	(2)無形固定資産		0
	ソフトウェア		
	(3)投資その他の資産		0
	敷金		
	長期貸付金		
	固定資産合計・・・②		0
【A】資産合計 ①+②			1,578,278
【B-1】負債の部			
1	流動負債		
	未払金		
	預り金	540,328	540,328
	流動負債合計・・・③		540,328
2	固定負債		
	長期借入金		
	固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④			540,328
【B-2】正味財産の部			
	前期繰越正味財産額		509,552
	当期正味財産増減額		528,398
正味財産合計			1,037,950
【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】			1,578,278

2019年度 財産目録

特定非営利活動法人 八王子共生社会推進会議
(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	10,633		
	多摩信用金庫	1,027,317		
	多摩信用金庫 (トヨタロ)	540,328	1,578,278	
	流動資産合計・・・①			1,578,278
2	固定資産			
	(1)有形固定資産			0
	車両運搬具			
	事業用車両			
	什器備品			
	パソコン			
	(2)無形固定資産			0
	ソフトウェア			
	(3)投資その他の資産			0
	固定資産合計・・・②			0
【A】資産合計 ①+②				1,578,278
【B-1】負債の部				
1	流動負債			
	未払金			
	預り金			
	トヨタモビリティ財団資金繰越金	540,328	540,328	540,328
	流動負債合計・・・③			540,328
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④			0
【B-1】負債合計 ③+④				540,328
【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】				1,037,950

監査報告書

特定非営利活動法人

八王子共生社会推進会議

理事長 大福 族生 殿

2019年度（2019年12月12日から2020年3月31日迄）の
事業報告、貸借対照表、活動計算書及び附属明細書を監査した結果、適法に
処理、記載されていると認めます。

以 上

2020年5月19日

監査役 添田 繁實



第3号議案 令和2年度事業計画(案)

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

平成1年度(2019年)はトヨタ・モビリティ基金事業が本格的に始まり多くの成果が生まれました。事業が進展するに従い、いろいろな課題も多く発生しました。出来ることはその都度対応しましたが、総合的な対応は令和2年度の大きなテーマとなりました。

それらに対応するため、連携団体のケアセンター八王子様との連携を強化し、事業の一部を担っていただく予定です。また、車両による運行回数を増やすため、新たに1台増車する事や、活動のためのスペースの確保も実施します。

これらの事業を行うことにより、八王子市が目指す「移動支援センターの設置」の足がかりが出来ると考えています。

地域で活動する団体が移動・送迎支援活動するためには、総合的な支援するシステム(組織)が必要です。(「移動支援に関する体制イメージ図」参照)

皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。

【1】事務局体制の増強

トヨタ助成金事業を充実するため、活動員の補強は必須です。連携団体のケアセンター八王子様と連携し、事務手続きなど一部をお願いします。また事務処理量の増加を見込み、各種手続きの標準化を進めます。また作業場、打合せスペースも確保します。

【2】移動支援のための講習会の実施

前年度は活動団体の確保が予定通りできませんでした。移動・送迎支援活動は必要なものとの認識はありますが、いざ実施するには多くの障害があるように思われます。安心・安全の確保と支援者の確保です。地道にその方法などPRし、長い目で育成に取り組みます。

【2】勉強会の実施

活動団体との連携は安全を確保するうえで重要であるとともに、将来的なネットワーク構築には必須です。八王子市では生活支援活動団体(住民主体による訪問型サービス登録団体:B登録団体)が現在27団体(平成2年2月)あります。しかし「もやい」と契約している団体は5団体に過ぎません。今年度は勉強会などを通じて、これらの団体へ協力をお願いし、10団体を目標にします。

【3】車両による移動・送迎支援活動の標準化

前年度の実績から、貸し出しには融通性の向上が課題であることが判明しました。さらに今年度は八王子市のモデル事業「通所型サービスC」への協力も決定しました。これらへ対応するため、新たに車両を1台増やし対応します。合計3台と必要に応じて、ケアセンター八王子様からお借りすることも予定しています。増車分はケアセンター八王子様からお借りすることが決まっています。

【4】広報活動(ホームページ)の充実

令和2年早々から新型コロナウイルス感染が流行し、私どもの活動もままならない状況にあります。このような状況では具体的な活動ができません。よってホームページの利用や書面による活動が必

要です。また、車両の予約などもホームページを利用し、分かりやすく、使いやすいホームページを目指します。

【5】“もやい”と連携し活動してくれる方々

もやいの活動に関する助言や情報の提供など、もやいが目指す「理論武装」を支える方々です。行政、社会福祉協議会、それぞれの専門家と幅広いネットワークが特徴です。

- ①八王子市関係部署(福祉政策課、高齢者いきいき課、高齢者福祉課、交通企画課)
- ②八王子市社会福祉協議会(ボランティアセンター、地域福祉拠点、生活支援コーディネーター)
- ③全国移動サービスネットワーク事務局長 伊藤みどり 氏 (トヨタ事業アドバイザー)
- ④医療経済研究機構研究部研究員 服部真治 氏 (トヨタ事業アドバイザー)
- ⑤桜美林大学 社会福祉教授 島津 淳 氏 (トヨタ事業アドバイザー)
- ⑥数井クリニック院長 数井 学 氏
- ⑦ケアセンター八王子 理事長 堂田レイ子 氏 (トヨタ事業アドバイザー)

以上



第4号議案 令和2年度(2020年)事業予算(案)に関する事項

書式第13号(法第28条関係)

2020年度 活動予算書			
2020年4月1日から		2021年3月31日まで	
特定非営利活動法人 八王子共生社会推進会議			
(単位:円)			
科目	金 額		
	金 額	小 計	合 計
I 経常収益			
1 受取会費		25,000	
正会員受取会費	20,000		
賛助会員受取会費	5,000		
2 受取寄附金		200,000	
受取寄附金	200,000		
3 受取助成金等		10,130,000	
受取助成(トヨタモビリティ基金助成金)	10,130,000		
4 事業収益		10,000	
講習会資料代等	10,000		
経常収益計			10,365,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費		3,506,000	
人件費計	3,506,000		
(1)トヨタ助成金事業		6,634,000	
助成金事業合計	6,624,000		
(2)その他の事業	10,000		
事業費計			10,140,000
2 管理費			
(1)人件費		0	
役員報酬	0		
給料手当	0		
人件費計			0
(2)その他経費		75,000	
消耗品費	20,000		
会議費	5,000		
通信運搬費	10,000		
広告宣伝費	10,000		
旅費交通費	15,000		
雑費	15,000		
管理費計			75,000
経常費用計			10,215,000
III 経常外収益			
経常外収益計	0		0
税引税引前当期正味財産増減額			150,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			1,037,950
次期繰越正味財産額			1,187,950

第5号議案 理事選任の件

①新理事選任(1名)

久保田 貞視

- NPO法人八王子共生社会推進会議 会員
- NPO法人八王子市民活動協議会 会員

以上

<参考資料>

もやいの長期的な夢の事業（もやい版 Maas）

2019年8月より国立東京高等専門学校と共同で研究しています。

今年度も引き続きこの研究を続ける予定です。近い将来、車での送迎は自動運転などで明らかに変わります。もやいは広い視野でその動きを研究します。

もやいMaasによる移動・送迎支援活動モニター構想

国立東京高等専門学校と「移動・送迎支援システム」運用の共同実験を行っています。情報工学科（山下晃弘准教授）の「社会実装プロジェクト」としての実験です。

「もやい」及びケアセンター八王子が所有する5台の車にGPSと送信機（GPSロガー）を設置し、その運行をモニターし、効率的な運用を目指します。リアルタイムでのモニターによる、各車両の現在位置が知ることが出来、将来利用者がスマートフォンで手配することを想定した実験です。



* 近い将来の可能性の研究

- ①災害時の緊急移動支援（行政と連携）
- ②ユニバーサルな利用可能サービスの研究
- ③定額利用サービスの研究（買い物：500円/回、通院援助：500円/回 各団体同額）
- ④医療機関との連携（診察予約と移動の予約の一本化）
- ⑤公共交通との連携（公共交通より先の移動 ⇒ ラストワンマイルサービス）

(1) モニター内容

（モニタリング30秒毎）

- ①年月日
- ②位置
- ③スピード
- ④高度

(2) 分析項目

- ①運転者
- ②移動距離
- ③移動時間
- ④利用目的（場所）
- ⑤稼働率
- ⑥走行ルート



車への設置
（フロントガラス部）

GPS & 送信機



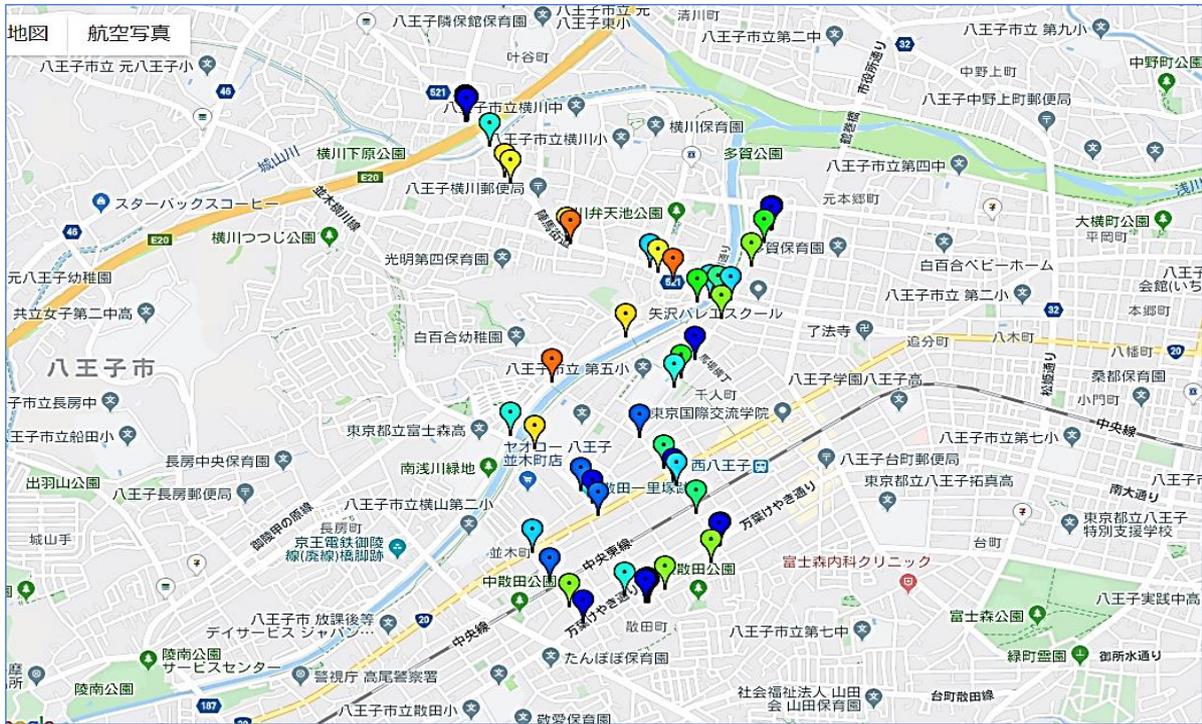
<搭載車>

トヨタシャンタ

- ①Sカー
- ②カーナビゲーション
- ③ドライブレコーダー
- ④車いす対応
- ⑤助手席スライドシート

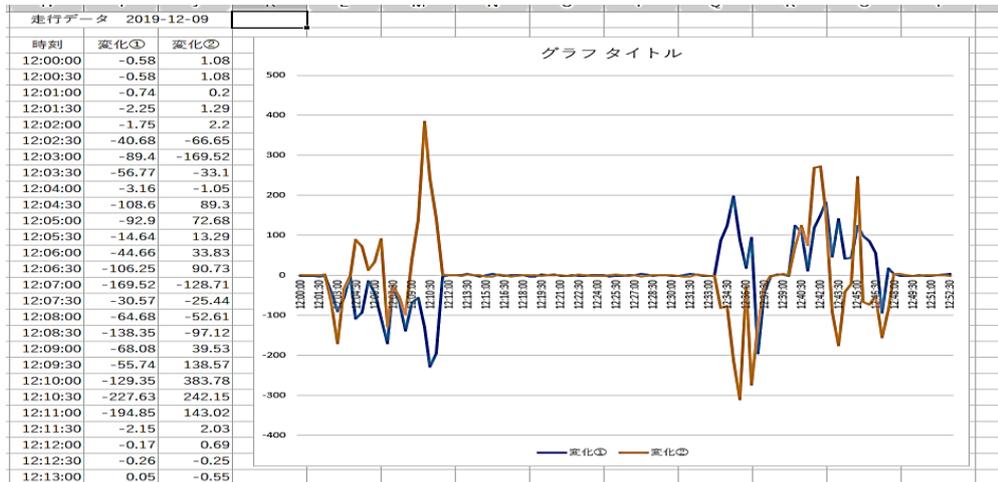
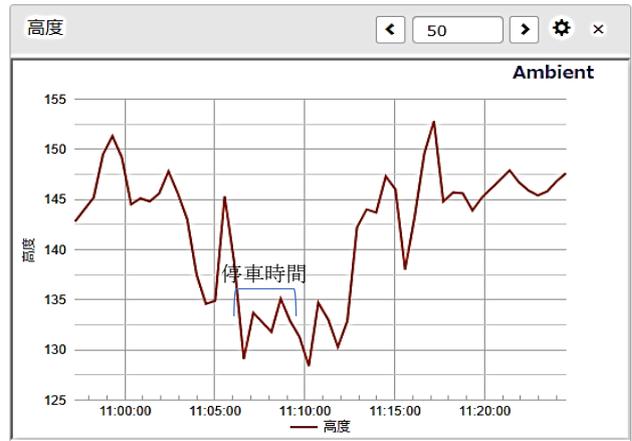
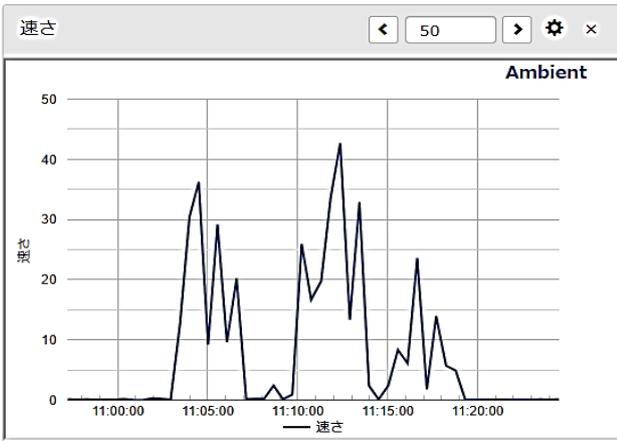
もやいシエント走行記録 (2019/12/08) (次ページ)

① サンプリングタイム 30 秒ごと



最新データ登録: 2019/12/9 11:24:30

(暖炉高度の誤差は 5 m 位)



(位置情報の記録)